

いま協同を拓く
2004 全国集会

in ながの

全体集会

参加者の 感想

- ・田中知事の発言から、知事が県民・市民の目線で着実にやられていることがよく分かり感動した。こういう勇気ある知事が全国に生まれていくことを心から期待する。協同を拓くということが初めて分かった。協同という言葉もよく知らなかった私だが、今回の集会から、何か日本が拓けていく展望みたいなものが見えてきた感じがしてうれしかった。いま協同を拓く—この視点こそ日本には何より重要なのではないか。
- ・田中知事がとても頼もしく信頼できてうれしく思いました。地方にあって直接市民の生活現況を知ることが出来る政治をして頂きたいと思います。寺島氏の講演は、とてもよく内容が理解できて素晴らしいお話でした。
- ・田中康夫知事のお話で、国の補助金が出る公共事業のお金の行方についてはわかりやすかった。地域の小さな事業所が地域単位の仕事を請け負っていくほうがよいと感じた。民主主義とはどういうことか、具体例をあげていただけてわかりやすかった。木内氏、西垣氏、田中氏のリレートークも実践の積み重ねを短時間にまとめていただけてわかりやすく、元気の出る報告だった。
- ・田中知事と堀内さんの対談がとても展望が持てるものでした。コモンズ、ディーセントワークの視点を持ち帰り、皆に伝えたいと思います。寺島先生のお話はもっとずっと聞いていたいと一時間と少しでは足りないと思いました。著書を買って勉強したいです。
- ・寺島氏の講演で、世界情勢の認識を新たにしたいです。中国の力は気になっていましたが、データや実情の説明で、世界の動きがよくわかるとともに、今後の地球はどうなっていくのか未恐ろしくもあります。
- ・寺島さんの講演は非常にインパクトのあるものでした。アメリカべったりの日本政府の政策に対して、きっぱりとした対案を提起されているだけでなく、青少年や中高年者の置かれた社会的な問題への視点もシャープで、しかも熱いものだったと思います。特に私も含めた中高年層の「me—イズム」についての批判は重要であると感じました。
- ・寺島実郎先生の話は、日本の中だけでなく、世界から見た日本の実体を教えていただけだと思います。その中でNPOとボランティア活動の違いをしっかりと認識でき、

我々協同組合は、責任と継続性を持って維持していかなければならないことを自ら確認しました。また、協同組合は問題意識を持たないと発展しないという言葉も心に残りました。

- 木内市長の食農教育で、子供たちに夢を与える取り組みは実に素晴らしい。私達の活動にも取り入れたいと思う。佐久総合病院の地域医療の実践は医療生協でも参考にしたい。市民主体の介護をとり戻す運動の展開で地域を変えてほしい。
- 木内市長さんのお話は、押しつけがましくなく、それでいて、子どもたちの姿が目につかぶほのほのとしたものでした。私の子どもたちも、こういう環境で育てられたらよかったのになあとうらやましかったです。
- 飯山市の取り組みで、「すいかが食べたい」という子どもたちの声から始まる子ども中心の体験学習を何年にも渡って継続できた

ことはすばらしいと感動しました。NPO法人化により広域化と継続性を持ち、全校米づくり体験までになった実践の積み重ね、行動力に元気をいただきました。

- 「自治と協同」をテーマとして考えながら話を聞いていました。私は労協センター事業団に勤めているかたわら、仕事をおこし、運営・出資をすることを大前提に行わなければいけません。その上で、隣人愛、個人主義、哲学を育むという点を重要として教えていくべきであると感じました。
- 自分が普段考えていることの確認、確信が繋がった集会でした。今後の活動に役立てたいと思います。共有出来る大勢の方々がいることも力になりました。
- 日々の生活と世界とのつながりが身にしみて良く解りました。力を合わせて良い国づくりにはげみたい。命の大事さを無言でわかる子供達が大人になった時、良い社会になると期待できます。

